

## 堺市指定管理者評価表

( 評価対象期間 : 令和2年4月1日 から 令和3年3月31日 まで )

## 1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市都市緑化センター	
(2) 施設の設置目的	
緑化啓発を目的とした各種展示・講習会の開催及び市民緑化活動に対する支援・指導を行うため	
(3) 所管部局	
建設局 公園緑地部 公園緑地整備課	
(4) 指定管理者名	
堺市公園協会・南海ビルサービス共同体 (公益財団法人堺市公園協会、南海ビルサービス株式会社)	
(5) 指定期間	
平成29年4月1日から令和4年3月31日まで(5年間)	
(6) 主な事業	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 都市緑化センター運営事業<ul style="list-style-type: none"><li>(1) 施設の管理に関する業務 施設、設備の維持管理・保守点検・施設修繕</li><li>(2) 施設の運営に関する業務 花と緑のまちづくりに関する相談・庭づくり教室等の緑化意識向上に向けた講習や展示会・施設利用案内等・苦情対応</li><li>(3) 植物の管理に関する業務 庭園内の樹木、草花及び芝生等の適正管理</li></ul></li><li>・ 自主事業 体験・交流型のイベント等</li></ul>	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
文化・教育施設	有 (利用料金制)
(9) 選定方法(公募・非公募の別)	
公募	
(10) 主な利用者	(11) 市内における受益対象者数
市民	市民(不特定多数)
(12) 近隣の類似施設	
花と緑と自然の情報センター(大阪市)、大泉緑地花と緑の相談所(大阪府)	

## 2 管理運営状況

## (1) 適正な管理運営の確保

## ア 取組状況

平等利用、安全確保、個人情報の保護等	子どもから高齢者まで花と緑を楽しめるよう管理運営を実施した。また来館の際、安全・安心・快適を基本として庭園散策できるように園路の点検・修復を行った。市と連携を図りながら、エントランスの一方通行や、検温、消毒、換気、ソーシャルディスタンスを確保するなど、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を適宜実施し、感染リスクを下げた上で運営を行った。個人情報の保護については指定管理者が定める個人情報保護規程・情報公開規程に基づき適正に管理した。
職員配置、人材育成、施設の維持管理等	緑の相談窓口では樹木医を始めとする花と緑の有識者を揃え、相談者に的確な回答を行った。また来館者に適切な対応と上質なサービスの提供をすることを目的に年間13回の職員研修を行い、職員の資質向上を図った。施設の維持管理については園内の不陸や水路の状況、機器類の定期的な点検により状況を把握し、損傷が大きくなる前に補修する「予防保全」による維持管理を行うことで、施設の安全を確保し、長寿命化を図るライフサイクルコストの縮減を図った。
施設の設置目的に沿った事業の実施	コロナ禍による緊急事態宣言発出により臨時閉館等の対応が必要となったが、年度事業計画に基づき適切に事業を実施した。都市緑化の推進を目的とした当センターでは、緑の相談窓口で市民の日常的な緑化活動に対する相談を行うほか、展示会・講習会を通じて緑化活動や植物に対する学習の場として運営した。また緑に関するボランティア活動の場を提供し、緑を介したコミュニティ活動の促進を図った。
その他特筆すべき取組	老若男女すべての市民から身近で愛される緑化センターをめざし、花緑に包まれた居心地の良い空間にするため、館内外の花飾り手法の見直しを行った。

## イ 市による状況分析

植栽管理等緑化相談に対応すること、緑化に関連したイベント・講習会・展示会を開催すること等により市民の緑化意識の向上に寄与している。

## (2) 利用者サービスの向上

## ア 利用状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
指定管理者名	堺市公園協会・南海ビルサービス共同体	堺市公園協会・南海ビルサービス共同体	堺市公園協会・南海ビルサービス共同体	堺市公園協会・南海ビルサービス共同体	堺市公園協会・南海ビルサービス共同体
利用者数(単位:人)	181,767	171,263	162,297	83,947	—
稼働率(単位:%)	多目的室 74.2%	多目的室 90.0%	多目的室 86.5%	多目的室 55.3%	—
利用者満足度(単位:%)	77.0	87.0	98.0	93.0	—

## イ 取組状況

サービス向上、利用促進	新型コロナウイルス感染症の対策のため、休館等の対応が必要な時期もあったが、季節の花をSNS等に掲載するなど情報発信を行ったことで、認知向上できた。
意見・苦情・要望等への対応	令和2年度の苦情・要望件数は0件
その他特筆すべき取組	令和元年度に百舌鳥・古市古墳群が世界遺産登録認定を受けたことにより、実習園を古墳に模したガーデンとしてリニューアルした。また売店では地元企業とコラボレーションし、古墳グッズの取扱いを開始したことにより、古墳群の価値や魅力も発信することができた。

## ウ 市による状況分析

令和2年度の利用者数は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため閉館した影響もあり、令和元年度より大幅に下回っているが、SNS等を強化するなど、新たな方法での魅力発信を行った。

## 2 管理運営状況

## (3) 収支

## ア 収支状況

(単位:円)

## ■ 指定管理業務

指定管理者名		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (予算)
堺市公園協会・南海ビルサービス共同体		堺市公園協会・南海ビルサービス共同体	堺市公園協会・南海ビルサービス共同体	堺市公園協会・南海ビルサービス共同体	堺市公園協会・南海ビルサービス共同体	堺市公園協会・南海ビルサービス共同体
収入	指定管理料	62,500,000	62,500,000	63,078,704	63,657,408	60,957,408
	利用料金	0	0	0	0	0
	負担金	0	0	0	0	0
	その他	912,900	815,700	876,600	320,500	0
合 計		63,412,900	63,315,700	63,955,304	63,977,908	60,957,408
支出	人件費	44,402,011	47,845,886	42,004,372	40,845,116	43,674,000
	委託料	1,006,992	1,013,792	1,041,979	1,286,697	1,069,000
	総支出額に占める 委託料の割合	1.6%	1.5%	1.6%	2.1%	1.8%
	修繕費	622,533	261,100	386,885	5,095	536,408
	光熱水費	5,707,569	5,520,065	5,999,499	5,997,712	5,484,000
	その他	11,488,879	11,524,930	14,843,341	11,881,697	10,194,000
合 計		63,227,984	66,165,773	64,276,076	60,016,317	60,957,408
収支差額		184,916	-2,850,073	-320,772	3,961,591	0
(市への納付金の額)		-	-	-	-	-
(徴収委託の場合の徴収額)		-	-	-	-	-

## ■ 自主事業 (有)

(単位:円)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (予算)
収入	1,032,812	1,068,898	1,646,020	955,169	866,000
支出	941,826	617,770	1,042,870	452,602	866,000
収支差額	90,986	451,128	603,150	502,567	0
(市への納付金の額)	-	-	-	-	-

## イ 取組状況

経費の縮減、経理事務	新型コロナウイルス感染防止対策として、臨時休館やイベント中止などの措置を講じたことにより、自主事業等の収入が減少したが、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の取組や節水・節電の取組を積極的に実施するとともに、作業の内製化を図り、経費削減につとめた。
------------	--

## ウ 市による状況分析

新型コロナウイルス感染防止対策として、市からの施設の休館の指示等により、利用者数が減少するなどの状況変化により、自主事業による収入が減少したが、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の取組や節水・節電の取組を行うことで経費削減を行っている。
---

## 3 目標管理、総合評価

## (1) 目標管理

## ア 仕様書で定める目標の達成状況

## ■ 適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
来館者数	市の目標 180,000人/年 指定管理者の目標 187,000人/年	83,947人
都市緑化にかかる相談件数	市の目標 2,500件/年 指定管理者の目標 2,800件/年	2,632件

## ■ 利用者サービスの向上

指標	目標	実績
利用者アンケート調査における利用者満足度「快適性」の項目	満足度「大変満足」「満足」 合計80%以上	93%

## ■ 収支

指標	目標	実績
適正な経費の支出	事業計画に基づく適正な経費の支出	事業計画に基づく適正な経費の支出を実施

## イ 市による状況分析

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための閉館等の対応により、目標に達することができなかった。来館者数の減の割合に比べ、緑化相談の件数の減少割合が低いのは、緑化相談の需要はあるものと考えられる。前年度と同様に関西地区花と緑の相談所連絡会議などで横の連携を取り、相談に対して質の高い解決ができたことが、満足度にも反映されていると考えられる。

## (2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

	指定管理者	所管課
評価	B	B
評価の理由	<p>新型コロナウイルスの影響により、来館者数は大幅に減少したが、緊急事態宣言発出による臨時閉館時にはSNSを活用し園内の花緑の様子を発信するなど工夫した。また開館中はコロナ禍により自宅で花緑を育てる方が増え、育て方などの問い合わせが増えて来ていた。新たな取組として、日本で有名な妖怪画家とコラボレーションし、古墳から妖怪が緑化センターにやってきたというコンセプトで「さかい妖怪ガーデン」というイベントを開催するなど、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら適宜事業を実施した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症防止対策としては、市と連携を図りながら対策を行い、講習会の人数を半減しソーシャルディスタンスを保ち、エントランスの一方通行や、検温・消毒・換気の徹底などを行い運営を行いました。</p>	<p>令和2年度の利用者数は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため閉館した影響もあり、令和元年度より大幅に下回っているが、SNS等を強化するなど、新たな方法での魅力発信を行ったことは評価できる。</p> <p>また、市と連携を図りながら、エントランスの一方通行や講習会の人数半減や、ソーシャルディスタンスの確保に加え、検温、消毒、換気の徹底など新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を適宜実施し安全確保に努めていた。</p>
今後の取組	今後、情報の発信をバージョンアップし、動画等を用いてよりわかりやすく緑化センターの魅力や展示会等を広く周知していく予定。管理における節約に取り組み、市民の多様なニーズに応えられる庭園管理を含めた施設運営を行っていきたい。	今後もコロナ禍等の社会情勢にも適宜対応し、広報の強化を行うとともに、管理経費の節約をしつつも、市民の多様なニーズに対応していきたい。

評価基準	A 仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの
	B 概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の管理運営がなされ、適正であるもの
	C 管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの
	D 管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの